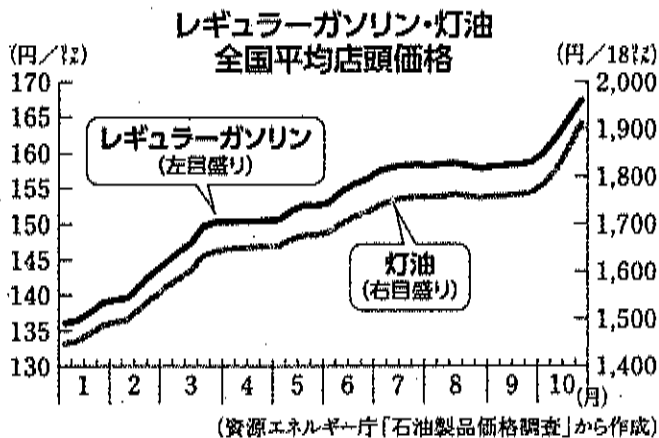


10/28 系1-87



ガソリン 平均167円

8週連続値上がり

経済産業省が27日発表したレギュラーガソリン1リットル当たりの店頭価格(25日時点)は、全国平均で前週比2円70銭上昇の167円30銭となりました。値上がりは8週連続。原油価格の高騰が響き、2014年9月以来、約7年ぶりの高値が続いています。

石油元売り各社は、今週も給油所への卸価格を50銭程度引き上げました。値上がりは来週も続く可能性が高い。

全都道府県で値上がりしました。値上げ幅が最大だったのは大分の4円70銭で、高知と福岡が続きました。最高値は長野の175円

10銭。離島の多い鹿児島や長崎などでも170円台が続きます。冬場に需要が増える灯油も8週連続で値上がりし、18リットル当たりの給油所店頭価格が全国平均で1910円となりました。

石油元売りが加盟する石油連盟の杉森務会長(ENEOSホールディングス会長)は27日の記者会見で、主要産油国の増産への消

極姿勢が原油高の一因だと指摘。「産油国が経済回復に水を差す」と強調しました。

このないよう望んで